



# まだ 受領 されていない方へ 安定ヨウ素剤を 事前配布 します

問い合わせ  
市民安全課 ☎ 552-1116



## 高い市民の関心

篠山市は、平成28年1～3月にかけて、もしもの原子力災害に備えて、安定ヨウ素剤の事前配布を行いました。原子力発電所から30<sup>キ</sup>以上離れた自治体としては全国で初めての取り組みです。

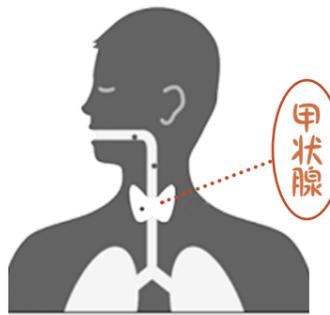
原子力災害時には、特に成長期にある子どもたちに大きな影響があるとされています。学校関係を中心に呼びかけたところ、**3歳以上13歳未満の約7割の方に配布することができ**、子どもを持つ世代の関心の高さを感しました。市全体では、3歳以上の市民の約3割の1万1508人に配布することができました。今年度もこの取り組みを継続します。まだ安定ヨウ素剤を受け取っていない方で受領を希望される方、**また新たに3歳になって事前配布の対象となられた方などに対して事前配布説明会を行い**、万が一の原子力発電所の事故に備えます。

## 放射能の影響

篠山市は福井県の原子力発電所から約50<sup>キ</sup>の距離にあり、もしも福井県の原子力発電所に事故が発生し放射能が漏れだすと、篠山市まで飛んでくるおそれがあります。

放射能とは、放射線という人体などに影響を与えるものを出す物質のことです。放射線は目に見えず、においもありません。

原子力発電所の事故の際にはさまざまな放射能を含む物質が放出されますが、特に放射性ヨウ素は、甲状腺に取り込まれやすい性質を持っており、甲状腺に取り込まれると内部被ばくをおこし、甲状腺がんの原因になってしまいう危険性があります。特に成長



期にある子どもたちへの影響が大きいとされています。

このため、放射性ヨウ素を取り込むまでにあらかじめ「安定ヨウ素剤」を服用することにより、安全なヨウ素で甲状腺を満たし、放射性ヨウ素が取り込まれるのを防ぐことができます。

ただし、放射性ヨウ素以外の放射能セシウム、ストロンチウムなどを防ぐことはできないことに注意が必要です。

さらに、安定ヨウ素剤は内部被ばくを防ぐ手段でしかなく、外部被ばくや汚染に対しては効力がないので、放射能の影響を避けるためには早く「遠くへ」「逃げる」ことが必要です。

## 安定ヨウ素剤の配布

市では、平成26年3月に安定ヨウ素剤5万人分を備蓄しましたが、あらかじめ配布を行うことで、服用が必要となった際にあわてることなく対処することができます。

安定ヨウ素剤の事前配布を受けるには、事前に配布する

## 今後の原子力災害対策への取り組み

篠山市では現在、有識者や市民で構成する原子力災害対策検討委員会を立ち上げ、万が一の原子力発電所の事故に備え、対策を検討しています。今年度は市民の皆さんに、原子力災害時に受ける影響や避難などの対処方法をわかりやすくまとめた「ガイドブック」の作成を計画しています。



## 事前配布説明会の日程

とき	ところ	時間
11月 5日(土)	今田体育館	① 10:00 ~ ② 14:00 ~ ※説明会開始の1時間前から受け付け。
11月 13日(日)	ハートピアセンター	
11月 20日(日)	西紀体育館	① 10:00 ~ ② 14:00 ~ ※説明会開始の1時間前から受け付け。
11月 26日(土) 11月 27日(日)	四季の森 生涯学習センター	
12月 3日(土) 12月 4日(日)	篠山市民センター	① 10:00 ~ ② 14:00 ~ ※説明会開始の1時間前から受け付け。
12月 11日(日)	城東公民館	

○問診票は来月(11月号)の広報紙とともにお配りするほか、本庁・各支所でも配布しています。



- 家族の方の問診票をお持ちいただくことで、代理での受け取りもできます。
- すでに安定ヨウ素剤を受け取っておられ、今年度13歳(中学生)になって2丸の服用となる方は、配布したピンク色のケースに入った安定ヨウ素剤と問診票をお持ちいただければ、2丸の安定ヨウ素剤に交換します。



### ①受付

問診票兼受領書を確認します。  
※身分証明書を持参ください。

### ②医師による説明

約30分。説明会開始時刻に遅れた場合、配布できませんのでご注意ください。

### 受け取りまでの流れ

### ④配布

服用可能と判断された方に、安定ヨウ素剤をお渡します。

### ③問診

保健師または薬剤師が問診票兼受領書の記載内容を確認します。